

# 首都高メンテナンス神奈川 安全品質レポート

第3号  
2017年6月発行

# 熱中症の季節到来！

今年もあつっつい季節がやって参りました！数年、毎年少しづつ早まつていいる気がする「熱中症」の季節。今年は5月の半ばには既に横浜で最高気温30℃を記録しました。気象庁の気温は直射日光の当たらない形で計測されていますので、日の当たる作業場は+5°Cを見込んで、早めの水分補給、こまめな休憩などの熱中症対策をよろしくお願い致します。

熱中症とはそもそもなんだ？



この時期になると新聞や安全関係の雑誌等でよく見かける「熱中症とは」。耳にタコができたよそんなの知ってるよ！と、読まれている方も思うかもしません。そんな耳タコを増やす記事を今回は書いていきますね！

「熱中症」とは、一般に体内での熱の産出と熱の放散のバランスが崩れて、体温が著しく上昇した状態のこと

です。小さい症状（めまい、生あくび等）から大きな症状（肝機能障害等）まで、総称して熱中症と呼ばれてい

ます。そんな熱中症ですか？ 第二回は「予防」が最も重要なことです。

**「前脱水」を予防すること。**聞いたことがある方もいるかも知れませんが、脱水症（体液の3%以上が失われて

する状態)の症状にはまだ至っていないものの、身体の体液量が減少している(体液の1~2%が失われていて、尿量の減少と言います。特に高齢の方は元々の体液量

が少ないので、要注意！

水の状態では、体内で水分と電解質（塩分）が同時に減少している状態であり、この状態で水分だけを補給する

一定に保つためにせっかく補給した水分を尿として排出してしまいます。この現象を「自発的脱水」と言います。

では、その予防には何が効果的なのか。そもそも前脱水の状態では、体内で水分と電解質（塩分）が同時に減少している状態であり、この状態で水分だけを補給すると体液が薄まってしまうため、身体は自然と体液の濃さを一定に保つためにせっかく補給した水分を尿として排出してしまいます。この現象を「自発的脱水」と言います。

その、自発的脱水を防ぐためには、よく耳に「経口補水液」を定期的に摂取することが効果的と言われています。「でも、お高いんでしょ?」と、言われる経口補水液、実は簡単に手作りすることができるんです。

水 塩 砂糖

① 1L 1g 2g  
② 1L 2g 40g  
③ 1L 2g 40g  
④ 1L 2g 40g

レモン果汁 お好みで

柑橘系の果汁であれば良いようです。

**塩とブドウ糖は1対1の比率で吸収される**

ため、量が要となります。それでも面倒だなあと思う方は、スポーツドリンクを水で3倍に薄めて塩を一つまみ入れるだけでも、普通に飲むより水分吸収率が変わります。(スポーツドリンクは糖分が多く塩分がない。)

**味は是非、作つて確認してみてくださいね!**

一部では「**経口補水液の飲みすぎには:**」と言われていますが、がぶ飲みがダメなので、摂取するようにしましょう。また、狭心症や不整脈、高血圧の方が服用されている！と感じたら体液量が少ないサインです。口にして美味しい！と感じたら体液量が少ないサインです。そこで、摂取するようにしましょう。また、狭心症や不整脈、高血圧の方が服用されている！と感じたら体液量が少ないサインです。

**外に排出しようとする作用が強い為**脱水症状を起こしやすい傾向があります。高血圧で塩分補給は：と思われがちですが、**発汗の多いときには少額の塩分摂取を高血圧学会も推奨**しております。これからどんどん暑い時期がやって参りますが、熱中症、更には食中毒にも、是非気をつけてくださいね！



平成29年

# 4月～5月の行事

## 4月3日（月） 首都高メンテナンス神奈川に新たに2名の社員が加わりました！

もうご存知の方も多いと思いますが、今年度2名の社員を新たに迎えました！  
フレッシュな二人をほんのりご紹介いたします。



川崎市出身の布施です。  
野球好きで、ベイスターズファンです。ご迷惑かけることが多いと思いますが、よろしくお願いします。

FUSE TAKAYUKI

布施 貴之 君

－事業三課－



木村です！出身は千葉県です。皆さんから多くの知識を学んでいければと思っています。よろしくお願ひします！

KIMURA MAKOTO

木村 誠 君

－事業四課－



## 5月26日（金） 大師清掃基地にて 点検・補修デモンストレーション が行われました！

5月10日（水）～6月9日（金）までを首都高安全月間と位置づけ、首都高主催の安全等に関する様々な催事が行われました。

その一角として、金融関係者・マスコミ・学生を対象とし、「点検・補修デモンストレーション」が行われたのですが、実は神奈川管理局では初開催！メンテ神奈川はストップホール・HTB締めの実演ということで参加し、横河ブリッジさんに全面協力を頂いて実施いたしました。その様子を少し、ご覧ください。



△ 横河ブリッジさんの精度の高いストップホールに、学生さんも興味津々でした。



△ 現地のストップホール



準備中の様子



▶ 当日は午前中激しい雨に見舞われましたが、多数のお客様がいらっしゃいました。

ご協力ありがとうございました！

### 編集後記～ちら裏～

実は毎月発刊ではないこのレポートも今回で第3号になりました。新しいのまだー？と言われるとちょっと嬉しい今日この頃。経口補水液、ぜひ作ってみてください。安全品質課 玉井オイシイデス…（震え声）

### コラム

化学物質リスクアセスメント実施結果の裏面より

一番身近な化学物質「アルコール」。正式名称は「エチルアルコール（エタノール）」といいますが、皆さんは致死量って気にしたことありますか？エタノールの経口摂取による半数致死量（半数の人が死に至る量）は、個人差はありますが約7.2g/kg、体重60kgの人で約430gと言われています。日本酒のアルコール度数は14～19%が一般的なので、19%とすると半数致死量は2.1ℓ相当です。

日本酒の一升瓶は1.8ℓと考えると、半数致死量の約80%の量と言えます。ウイスキーなども、一瓶の量は製造者からの安全メッセージな気がしますね。飲み過ぎ注意ですよ！